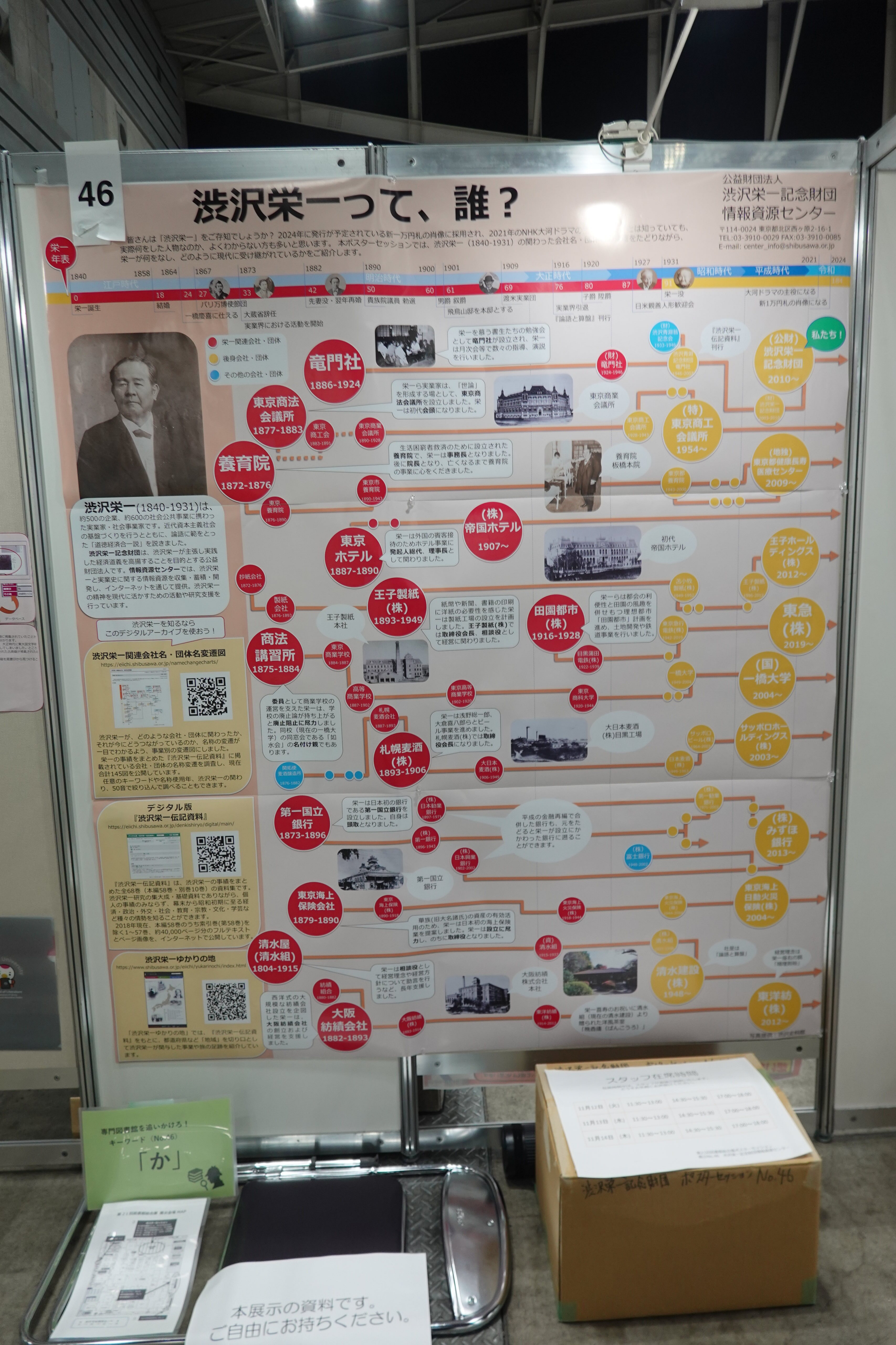
46
渋沢栄一って、誰？
公益財団法人
渋沢栄一記念財団
情報資源センター
〒114-0024 東京都北区西ヶ原2-16-1
TEL:03-3910-0029 FAX:03-3910-0085
E-mail: center_info@shibusawa.or.jp
皆さんは「渋沢栄一」をご存知でしょうか？ 2024年に発行が予定されている新一万円札の肖像に採用され、2021年のNHK大河ドラマの
は知っていても、
実際何をした人物なのか、よくわからない方も多いと思います。 本ポスターセッションでは、渋沢栄一（1840-1931）の関わった会社名・団
をたどりながら、
栄一が何をなし、どのように現代に受け継がれているかをご紹介します。
栄一年表
江戸時代
明治時代
大正時代
昭和時代
平成時代
令和
1840 0 栄一誕生
1858 18 結婚
1864 24 一橋慶喜に仕える
1867 27 パリ万博使節団
1873 33 大蔵省辞任 実業界における活動を開始
1882 42 先妻没・翌年再婚
1890 50 貴族院議員 勅選
1900 60 男爵 叙爵
1901 61 飛鳥山邸を本邸とする
1909 69 渡米実業団
1916 76 実業界引退 『論語と算盤』刊行
1920 80 子爵 陞爵
1927 87 日米親善人形歓迎会
1931 91 栄一没
2021 大河ドラマの主役になる
2024 新1万円札の肖像になる
栄一関連会社・団体
後身会社・団体
その他の会社・団体
竜門社 1886-1924
栄一を慕う書生たちの勉強会として竜門社が設立され、栄一は月次会等で数々の指導、演説を行いました。
（財）竜門社 1924-1946
『渋沢栄一伝記資料』刊行
（公財）渋沢栄一記念財団 2010～
私たち！
東京商法会議所 1877-1883
栄一ら実業家は、「世論」を形成する場として、東京商法会議所を設立しました。栄一は初代会頭になりました。
東京商業会議所
（特）東京商工会議所 1954～
養育院 1872-1876
生活困窮者救済のために設立された養育院で、栄一は事務長となりました。後に院長となり、亡くなるまで養育院の事業に心をくだきました。
養育院 板橋本院
（地独）東京都健康長寿医療センター 2009～
東京ホテル 1887-1890
栄一は外国の賓客接待のためホテル事業に発起人総代、理事長として関わりました。
（株）帝国ホテル 1907～
初代 帝国ホテル
抄紙会社 1872-1876
王子製紙（株） 1893-1949
紙幣や新聞、書籍の印刷に洋紙の必要性を感じた栄一は製紙工場の設立を計画しました。王子製紙（株）では取締役会長、相談役として経営に関わりました。
王子製紙 本社
王子ホールディングス（株） 2012～
田園都市（株） 1916-1928
栄一らは都会の利便性と田園の風趣を併せもつ理想都市「田園都市」計画を進め、土地開発や鉄道事業を行いました。
東急（株） 2019～
商法講習所 1875-1884
委員として商業学校の運営を支えた栄一は、学校の廃止論が持ち上がると廃止阻止に尽力しました。同校（現在の一橋大学）の同窓会である「如水会」の名付け親でもあります。
（国）一橋大学 2004～
札幌麦酒（株） 1893-1906
栄一は浅野総一郎、大倉喜八郎らとビール事業を進めました。札幌麦酒(株)では取締役会長になりました。
大日本麦酒（株）目黒工場
サッポロホールディングス（株） 2003～
第一国立銀行 1873-1896
栄一は日本初の銀行である第一国立銀行を設立しました。自身は頭取となりました。
平成の金融再編で合併した銀行も、元をたどると栄一が設立にかかわった銀行に遡ることができます。
第一国立銀行
（株）みずほ銀行 2013～
東京海上保険会社 1879-1890
華族（旧大名諸氏）の資産の有効活用のため、栄一は日本初の海上保険業を提案しました。会社の設立に尽力し、のちに取締役となりました。
東京海上日動火災保険（株） 2004～
清水屋（清水組） 1804-1915
栄一は相談役として経営理念や経営方針について助言を行うなど、長年支援しました。
大阪紡績株式会社 本社
清水建設（株） 1948～
西洋式の大規模な紡績会社設立を企図した栄一は、大阪紡績会社の創立および経営を支援しました。
大阪紡績会社 1882-1893
東洋紡（株） 2012～
渋沢栄一(1840-1931)は、
約500の企業、約600の社会公共事業に携わった実業家・社会事業家です。近代資本主義社会の基盤づくりを行うとともに、論語に範をとった「道徳経済合一説」を説きました。
渋沢栄一記念財団は、渋沢栄一が主張し実践した経済道義を高揚することを目的とする公益財団法人です。情報資源センターでは、渋沢栄一と実業史に関する情報資源を収集・蓄積・開発し、インターネットを通じて提供。渋沢栄一の精神を現代に活かすための活動や研究支援を行っています。
渋沢栄一を知るなら このデジタルアーカイブを使おう！
渋沢栄一関連会社名・団体名変遷図
https://eiichi.shibusawa.or.jp/namechangecharts/
渋沢栄一が、どのような会社・団体に関わったか、それが今にどうつながっているのか、名称の変遷が一目でわかるよう、事業別の変遷図にしました。
栄一の事績をまとめた『渋沢栄一伝記資料』に掲載されている会社・団体の名称変遷を調査し、現在合計145図を公開しています。
任意のキーワードや名称使用年、渋沢栄一の関わり、50音で絞り込んで調べることもできます。
デジタル版 『渋沢栄一伝記資料』
https://eiichi.shibusawa.or.jp/denkishiryo/digital/main/
『渋沢栄一伝記資料』は、渋沢栄一の事績をまとめた全68巻（本編58巻・別巻10巻）の資料集です。渋沢栄一研究の集大成・基礎資料でありながら、個人の事績のみならず、幕末から昭和初期に至る経済・政治・外交・社会・教育・宗教・文化・学芸など種々の情勢を知ることができます。
2018年現在、本編58巻のうち索引巻(第58巻)を除く1～57巻、約40,000ページ分のフルテキストとページ画像を、インターネットで公開しています。
渋沢栄一ゆかりの地
「渋沢栄一ゆかりの地」では、『渋沢栄一伝記資料』をもとに、都道府県など「地域」を切り口として渋沢栄一が関与した事業や旅の足跡を紹介しています。
専門図書館を追いかけろ！
キーワード
「か」
本展示の資料です。
ご自由にお持ちください。